

表 1 A グループ（知的障害特別支援学校小学部各教科の 1 段階の内容を学ぶ児童生徒①）

(1) 自ら動く

高等部	誰からの援助にも応じながら、健康に日常生活を送る。	教師の少ない援助で、しばらく同じ姿勢を保とうとしたり、自分の楽な姿勢で過ごす。	教師の少ない援助に応じて、座位や立位などの姿勢を保持して日常生活動作を行う。	※日常生活動作 (食事、排泄、着替え等)
中学部	身近な人の援助に応じながら、健康に日常生活を送る。	教師の援助を受けて、力を入れたり、抜いたりして同じ姿勢を保とうとする。	教師の援助に応じて、座位や立位などの姿勢を保持して日常生活動作を行う。	
小学部 高学年	休まずに登校し、学校生活を送る。	教師の援助を受けて、力を入れたり、抜いたりして姿勢をとうとうとする。	身体(首・背・腰・上肢・下肢等)に、力を入れたり、抜いたりして、日常生活動作を行う。	
小学部 低学年	覚醒して学校生活を送る。	教師の援助を受けて、側臥位・伏臥位・座位・立位等の姿勢をとることを受け入れる。	身体を動かす関わりを受け入れ、日常生活動作を行う。	
	① 健康である力	② 姿勢を保つ力	③ 運動・動作を高める力	

(2) 人や物とかかわる

高等部	提示された物や人の声、音などに注意を向け続けて、見たり聴いたりする。	初めて見た人や物をじっと見たり、親しみをもって手を伸ばそうとしたりする。	身近な大人や人の声がある方に視線を向けたり、人や物に手を伸ばそうとしたりする。	2つの選択肢から好きな方を感じ取って表情を変えたり、視線を向けたり、手を伸ばそうとしたりする。
中学部	人の声がある方に視線を向けたり、ゆっくりと動く物を目で追おうとしたりする。	人と一緒に、好きな玩具で遊んだり、物を操作したりすることを楽しむ。	「もう一回する？」の問い掛けに表情やまばたきなどで応えようとする。	好き・嫌いを、表情を変えたり、視線を向けたり、手を伸ばそうとしたりすることで示す。
小学部 高学年	提示された物をじっと見たり、人を見て表情を変えたり、身近な人の声が分かったりする。	興味のある物に視線を向けたり、手を伸ばそうとしたりする。	身近な大人の働き掛けに、表情を変えたり、笑顔になったりする。	好きな物を提示されたり、好きな活動に取り組んだりすることで快の表情を示す。
小学部 低学年	人からの働き掛けに注意を向けたり、音が鳴る方に視線を向けようとする。	人や物が動いたり、音が鳴ったことに気付いたり、動きを止めたりする。	不快(眠たい、慣れない、苦手な感覚など)で泣いたり、快で表情を変えたりする。	不快(眠たい、慣れない、苦手な感覚など)で泣いたり、快で表情を変えたりする。
	④ 見たり聴いたりする力	⑤ 興味関心を広げていく力	⑥ 意思を表出する力	⑦ 選択する力

(3) 友達と協力する

高等部	人からの働き掛けや日常生活動作への援助を幅広く受け入れ、協力しようとする。	身体に触れる身近な大人の働き掛けや言葉掛けに、促しを感じ取って応じる。	日頃生活する環境の中で、友達の様子に注意を向けたり、同じ場で活動を楽しんだりする。	繰り返し行う活動の中で、支援者と一緒に、自分のできることで役割を果たす。
中学部	人からの働き掛けや日常生活動作への援助に、一部協力しようとする。	身体に触れる身近な大人の働き掛けや言葉掛けに応じようとする。	日頃生活する環境の中で、友達に視線を向けたり、表情を変えたりする。	教師と一緒に、係活動や簡単な作業を行い、自分の役割を果たす。
小学部 高学年	人からの働き掛けや日常生活動作への援助を受け入れる。	身体に触れる身近な大人の働き掛けや言葉掛けを受け止める。	友達の声や働き掛けに気付き、注意を向けようとする。	集会や行事の中で、教師と一緒に簡単な役割を果たす。
小学部 低学年	嫌なときに泣くが、あやされること泣き止む。	身体に触れる身近な大人の働き掛けや言葉掛けに気付く。	友達の声や働き掛けに気付く。	教師と一緒に、号令などの学級での簡単な役割を果たす。
	⑧ 身近な大人とかかわる力	⑨ 他者を理解する力	⑩ 友達とかかわる力	⑪ 役割を果たす力

(4) 自立と社会参加に向かう

高等部	日頃生活する場所で、できることを通じて自分自身で楽しんだり、身近な大人と一緒に活動を楽しむ。	はじめての場所(外出先や施設等)でも落ち着いて主体的に活動する。	支援者の援助を受けて、VOCA等の機器等を使って人に呼び掛けたり、音声発することを楽しんだりする。	支援者の援助を受けて、課題を受け入れる。	家庭や事業所等で、いろいろな人の援助を受けながら、落ち着いて日常生活を送る。
中学部	繰り返し経験した活動(遊びや外出など)に期待感をもつ。	校外学習や宿泊学習など様々な場所での学習でも、落ち着いて主体的に活動する。	機器に触れ、音声や音楽が流れたり、画面が変わったりすることを繰り返し学ぶ。	苦手なことも「あと1回」「おしまい」まで頑張れる。	集団の中で、担任以外の教師の援助も受け入れながら、落ち着いて活動する。
小学部 高学年	好きな音楽や好きな活動などの幅が広がる。	校外学習や宿泊学習など様々な場所での学習に慣れる。	教師と一緒に機器等を用いて、音声や音楽が流れることを繰り返し学ぶ。	受け入れられる感覚刺激や姿勢の幅が広がる。	学校生活の簡単な流れに気付き、安定した情緒と体調で過ごす。
小学部 低学年	好きな音楽や好きな玩具がある。	家庭と学校との環境の変化に気付き、少しずつ受け入れる。	教師と一緒に機器等を用いて、人に呼び掛ける等の経験を積む。	様々な感覚刺激や姿勢を受け入れようとする。	家庭と学校生活の違いを受け入れながら、安定した情緒と体調で過ごす。
	⑫ 余暇を楽しむ力	⑬ 新しい環境を受け入れる力	⑭ 手段を活用する力	⑮ 挑戦する力	⑯ 社会に参加する力

表2 Bグループ（知的障害特別支援学校小学部各教科の1段階の内容を学ぶ児童生徒②）

(1)自ら動く

高等部	毎日を健康に過ごし、人や場所の変化を受け入れながら、意欲的に生活をする。	家族や他者の少ない援助で日常生活に必要な座位や立位を保持する。	獲得した動作を使って、日常生活の一連の動作の中で、教師の促しに応じたり、自分で意識したりして身体を動かす。	※日常動作 (食事、排泄、着替え等)
中学部	毎日を健康に過ごし、自分に関わる人々の援助を受け入れながら意欲的に生活を送る。	教師の少ない援助で日常生活に必要な座位や立位を保持する。	教師の働き掛けに応じて、目的的に身体を動かしながら日常生活動作を行う。	
小学部 高学年	学校生活のリズムに慣れ、担任と一緒に授業に意欲的に取り組む。	補助具を使った座位や立位を保持する。	教師の働き掛けに応じて自ら体を動かし(移乗や着替えの際に手足を動かす、立位を保持して協力する。)日常生活動作を行おうとする。	
小学部 低学年	学校生活を送る中で、覚醒した状態で授業に参加する。	教師の援助を受けて座位や立位を保持する。	自分の身体が動かせることが分かり、自発的な動きを出したり、教師と一緒に日常生活動作を行ったりする。	
	① 健康である力	② 姿勢を保つ力	③ 運動・動作を高める力	

(2)人や物とかかわる

高等部	全体に提示された教材に注目して、手を伸ばそうしたり、楽器などを鳴らそうしたりする。	教師や友達がいることに気付き、視線を送ったり笑ったりして一緒に楽しんだり、手を伸ばしたりして興味を示す。	いろいろな人からの簡単な質問に、「はい」か「いいえ」を表すような表情をしたり発声したりする。	身近にある複数の中から好きな物に手を伸ばす、視線を向けるなどして選択する。
中学部	身近な教師の言葉掛けに振り向いたり、提示された教材に注目して手を伸ばそうしたりする。	教師や友達がいることに気付き、視線を送ったり笑ったりする。	教師や家族からの簡単な質問に、「はい」か「いいえ」を表すような表情をしたり発声したりする。	3つの物の中から好きな物に手を伸ばす、視線を向けるなどして選択する。
小学部 高学年	繰り返し学習した教材に興味をもち、期待感をもって、見たり聴いたりする。	2つの物から自分の好きな物を選ぶ、自分の好きな物だと言葉を理解する、人と物を介した遊びをする。(学校、特定の人)	好き、嫌いを表情やしぐさではっきりと表す。	提示された2つの物の中から好きな物に手を伸ばす、視線を向けるなどして選択する。
小学部 低学年	提示された物に気付き、注視したり追視したり、音源を探したりする。	好きな音や音楽に気付く、好きな関わり遊び(玩具)がある、玩具に手を伸ばし触れたりつかんだりする、好きな玩具で遊ぶ。	快、不快を表情や動きで表す。	提示された2つの物を見比べる。
	④ 見たり聴いたりする力	⑤ 興味関心を広げていく力	⑥ 意思を表出する力	⑦ 選択する力

(3)友達と協力する

高等部	様々な手段を活用して、他者から自分から働き掛ける。	身近な人の簡単な指示や身振りに応じる。	日頃生活する環境の中で、友達に手を伸ばしたり、声を掛けたりして関わる。	繰り返し行う活動の中で、自分の役割に気付き、教師の言葉掛けを受けて自分なりに取り組む。
中学部	日常生活で使う簡単な言葉掛けに視線を向けたり、表情を変えたりする。	日頃、関わる人と違う人に気付き、声を出したり手を伸ばしたりする。	友達がいるのを見て、自分もしたいと意思表示する。	繰り返し行う活動の中で、教師の援助を受けながら、係の仕事などに自分から取り組もうとする。
小学部 高学年	担任以外の教師の関わりを受け入れ、応じる。	特定の大人に向かって声を出したり手を伸ばしたりする。	友達のしていることが何であるか興味をもって見る。	教師と一緒に係の仕事に取り組む。
小学部 低学年	身近な大人の関わりを受け入れる。	特定の大人に向かって声を出す。	友達の存在に気付き視線を向ける。	教師の援助を受けながら、クラスの友達の前で係の仕事をするのを楽しむ。
	⑧ 身近な大人とかかわる力	⑨ 他者を理解する力	⑩ 友達とかかわる力	⑪ 役割を果たす力

(4)自立と社会参加に向かう

高等部	日頃生活する場所や外出先で、自分ができることを通して、身近な人と一緒に何らかの活動を楽しむ。	将来過ごす場所で落ち着いて過ごし、介助者が違っても援助に応じる。	自分なりの手段(視線、発声、身振り、手差し、指差し、カード等)で周囲の人とコミュニケーションをとる。	周囲の大人や友達の言葉掛けや励ましにより、課題に取り組む。	教師の援助を受けながら、公共施設や公共交通機関でのルールやマナーを守って活動する。
中学部	友達と一緒に、自分ができることを使って、何らかの活動を楽しむ。	慣れない人からの関わりを受け入れる。	自分なりの手段(視線、発声、身振り、手差し、指差し、カード等)で身近な大人とコミュニケーションをとる。	「～したい人」の言葉掛けに返事をして、教師と一緒に取り組もうとする。	教師の援助を受けながら、集団生活の中でのルールやマナーを守って活動する。
小学部 高学年	数分間一人で遊ぶ。	デイやショートなど慣れない場所で落ち着いて過ごす。	自分なりの手段(視線、発声、身振り、手差し、指差し、カード等)で身近な大人を呼んだり、好きなものを伝えたりする。	繰り返しする活動に自分から取り組もうとする。	集団の中で、担任以外の教師の援助を受け入れながら、落ち着いて活動する。
小学部 低学年	提示された物を注視、追視し、絵本の読み聞かせなどを楽しむ。	学校生活に慣れ、他者からの関わりや初めての経験を受け入れてそれに応じる。	視線や発声などで身近な大人を呼んだり、好きな物を伝えたりする。	自分で身体を動かすことの楽しさに気付く。	学校生活に慣れ、一日の生活の簡単な流れに沿って落ち着いて過ごす。
	⑫ 余暇を楽しむ力	⑬ 新しい環境を受け入れる力	⑭ 手段を活用する力	⑮ 挑戦する力	⑯ 社会に参加する力

表3 Cグループ（知的障害特別支援学校小学部の各教科1～2段階以上の内容を学ぶ児童生徒）

(1)自ら動く

高等部	手洗いやうがいなどの衛生管理に自分で取り組んだり、自分の体調不良を周囲の人に分かるように伝えたり、指示に応じて休養したりする。	周囲の状況に合わせて、自分で体を動かしたり、姿勢を保ったりする。	日常生活動作に必要な身体の動かし方を自分で調整したり、一人で難しいことは周囲の人に手伝ってもらいながら取り組んだりする。	※日常生活動作 (食事、排泄、着替え等)
中学部	教師の言葉掛けや手本を見て、手洗いやうがい等に取り組んだり、自分の体調の変化に気付いて、部位を指し示すなどして教師に伝えたり、教師の促しに応じて休養したりする。	教師の言葉掛けや手本を見て、体を動かしたり、学習の間姿勢を保ったりする。	教師の言葉掛けや手本を見て、日常生活動作に必要な身体の動かし方を自分で調整したり、身のまわりのことに自分で取り組んだりする。	
小学部 高学年	生活リズムを確立し、自分の不快な状態に気付いて、表情や身振り等で担任に伝える。	教師の援助を受けて、体を動かしたり、一定時間姿勢を保ったりする。	教師の少しの援助を受けて、日常生活動作に必要な身体の動かし方を調整したり、身のまわりのことに取り組んだりする。	
小学部 低学年	生活のリズムを整え、元気に授業に参加する。	教師と一緒に、体を動かしたり、姿勢を保ったりする。	教師と一緒に、日常生活動作に必要な身体の動かし方を調整したり、身のまわりのことに取り組んだりする。	
	① 健康である力	② 姿勢を保つ力	③ 運動・動作を高める力	

(2)人や物とかかわる

高等部	社会でのさまざまな体験を通して、見たり聴いたりしながら、関わる人や物に対応していく。	社会でのさまざまな体験を通して、自分の好きなことを見つけて、いろいろな人と関わりながら、好きな活動を広げていく。	自分なりの人への伝え方を確立し、いろいろな人に自分の意思を伝える。	複数の選択肢の中から、状況に応じて適切な物を選ぶ。
中学部	いろいろな体験を通して、見たり聴いたりしながら、周囲の状況を理解し行動する。	自分の好きなことを通して、自分で選択しながら周囲の人との活動や遊びを広げていく。	周囲の大人に、自分の気持ちやしたいことなどを自分なりの手段(声、身振り、指さし、カード、言葉等)で伝える。	複数の選択肢の中から、頼まれた物や指定された物を選ぶ。
小学部 高学年	学習の中で、繰り返し見たり聴いたりしながら、一定時間集中して活動する。	自分の好きなことをきっかけにその他のことや人に関心を持って活動や遊びを楽しむ。	身近な大人に自分なりの手段(声、身振り、指さし、カード、言葉等)で、要求を伝える。	複数の選択肢の中から、自分の好きな物やお気に入りの物を選ぶ。
小学部 低学年	教師の働き掛けや教師が提示した物に注目し、見たり聴いたりしながら活動する。	自分の好きな人や物に興味をもって関わる。	身近な大人に、声や身振りなどで自分の意思を表出する。	2つの選択肢の中から、自分の好きな物やお気に入りの物を選ぶ。
	④ 見たり聴いたりする力	⑤ 興味関心を広げていく力	⑥ 意思を表出する力	⑦ 選択する力

(3)友達と協力する

高等部	身近な大人に積極的に関わり、簡単な会話などのやりとりを楽しむ。	いろいろな人の意図や周囲の状況を理解して教師と一緒に感謝の気持ちを伝える。	自分からいろいろな友達に関わり、相手のことを考えて一緒に行動する。	必要に応じて教師や支援者の援助を受け、指示や依頼を受けた役割を最後までやり遂げ、その成果を報告する。
中学部	身近な大人に自分から関わり、挨拶や返事などの簡単なやりとりをする。	周囲の人と関わる中で、相手の反応に気付いて自分の行動や関わり方を変えたりする。	自分から身近な友達に関わり、一緒に行動する。	必要に応じて教師の援助を受けて、自分の係や学習の中での役割を意識して活動に取り組み、最後に活動終了の報告をする。
小学部 高学年	身近な大人に自分から関わり、遊びを通してやりとりをする。	身近な大人や友達と関わる中で、相手の反応に気付く。	教師の援助を受けて、身近な友達と関わる。	教師の少しの援助を受けて、意識して係活動などの役割に取り組み。
小学部 低学年	身近な大人に気付いて、自分から関わりとうとする。	身近な大人や友達に目を向け関わろうとする。	教師を介しながらクラスの友達に気付いて関わる。	教師と一緒に、係活動などの役割に取り組み。
	⑧ 身近な大人とかかわる力	⑨ 他者を理解する力	⑩ 友達とかかわる力	⑪ 役割を果たす力

(4)自立と社会参加に向かう

高等部	いろいろな人と関わりながら、自分の好きなことを通して一定時間過ごしたり、共に活動することを楽しんだりする。	周囲の状況の変化や新しい活動や仕事にも落ち着いて、主体的に取り組む。	自分なりの手段(声、身振り、指さし、カード、言葉等)で、いろいろな人とコミュニケーションをとったり、一週間の予定を確認したりする。	教師や支援者の見守りの中で、指示された活動に意欲的に取り組み、最後までやり遂げる。	必要に応じて教師の援助を受けて、公共交通機関や公共施設での簡単なルールやマナーを理解して行動したり、身なりに気を付けたりする。
中学部	周囲の人からの働き掛けに応じ、自分の好きなことを通して一緒に活動することを楽しむ。	周囲の状況の変化に自分で気がつき、変更や初めての状況にも落ち着いて行動する。	自分なりの手段(声、身振り、指さし、カード、言葉等)で、周囲の人とコミュニケーションをとったり、1日の予定を確認したりする。	必要に応じて教師の援助を受けて、指示された活動に意欲的に取り組み、最後までやり遂げる。	教師の少しの援助を受けて、公共交通機関や公共施設での簡単なルールやマナーを理解して行動したり、場に合った身なりを理解したりする。
小学部 高学年	自分の好きなことをして一定時間集中して遊ぶ。	教師の援助を受けて、周囲の状況の変化に目を向けながら、落ち着いて行動する。	自分なりの手段(声、身振り、指さし、カード、言葉等)で、身近な大人とコミュニケーションをとったり、次の予定を確認したりする。	学習の中で、自分の好きなことを見つけて、教師の援助を受けて意欲的に活動する。	教師の援助を受けて、学校の集団活動に落ち着いて参加し、簡単なルールを守って行動する。
小学部 低学年	自分の好きなことを見付けて、一人で遊ぶ。	新しい担任や新しい場所など、学校内での新しい環境の変化を受け入れ、教師の援助を受けながら関わったり、活動したりする。	声や身振りなどで身近な大人とコミュニケーションをとったり、教師と一緒に次の活動を確認したりする。	好きな活動を通して、教師と一緒に学習する。	教師と一緒に、学校の集団活動に落ち着いて参加する。
	⑫ 余暇を楽しむ力	⑬ 新しい環境を受け入れる力	⑭ 手段を活用する力	⑮ 挑戦する力	⑯ 社会に参加する力

表4 Dグループ（知的障害特別支援学校小学部の各教科2～3段階・中学部1段階以上の内容を学ぶ児童生徒）

(1)自ら動く

高等部	体調に応じて、食量や衣服の調整、無理をせずに休む等、自ら生活を管理する。	自分で姿勢の状態に気付いて正そうとしたり、姿勢を保とうとしたりする。	自分でできる運動や動作を習慣化して、体力や日常動作を自分で維持する。
中学部	自分の健康状態について周りの人に正しく伝え、体調に気を付けながら日常生活を送ることができる。	状況に応じて姿勢を保とうとしたり、教師の援助に協力したりする。	教師と一緒に自分なりにできる運動や動作を見付けて、主体的に身体を動かす。
小学部 高学年	学校生活を送る中で、自分の健康状態の異変を身近な大人に伝える。	言葉掛けを聞いて、姿勢を正そうとする。	要求された動きや決められた動きに対して、身体を動かそうとしたり自分で取り組んだりする。
小学部 低学年	学校生活のリズムを整え、自分の健康状態の異変に気付く。	言葉掛けを聞いて自分の姿勢の状態に気付く。	目的の人や物に向かって移動する等、目的をもって自分なりの方法で身体を動かそうとする。
	① 健康である力	② 姿勢を保つ力	③ 運動・動作を高める力

(2)人や物とかかわる

高等部	視覚的聴覚的な情報を取り入れながら、自分から意見を言うなど、考えて行動する。	自分が好きなことや興味のあることについて調べたり、楽しんだりする。	相手や状況に応じて丁寧な話し方で自分の考えを伝えたり、依頼をしたりする。	いろいろな事柄や物等を、状況に応じて適切に選択する。
中学部	他者の話や視覚的な情報を正しく理解し、その指示に従ったり、意見を述べたりする。	興味があることについて自分で調べたり、興味の幅を広げたりする。	自分の考えを伝えたり、必要な時に必要なことを依頼したりする。	複数の選択肢の中から、状況に応じて適切な物を選択する。
小学部 高学年	写真等を見たり、他者の話を聴いたりしながら、素直に聞き入れたり、感想を言ったりする。	他者が楽しんでいることに興味をもったり、受け入れたりする。	自分の気持ちを言葉や文字などで表して伝える。	複数の選択肢の中から、頼まれた物や指定された物を選ぶ。
小学部 低学年	集中して物を見つめたり、聴いたりする。	身近な大人と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。	大人の助けを借りながら、自分の気持ちを伝えることができる。	複数の選択肢の中から、好きなことやしたいことを選ぶ。
	④ 見たり聴いたりする力	⑤ 興味関心を広げていく力	⑥ 意思を表出する力	⑦ 選択する力

(3)友達と協力する

高等部	状況や必要に応じて身近な大人に具体的に質問したり、質問に答えたりする。	相手の立場や気持ちを感じて相手に応じた話し方をしたり、マナーを守って接したりする。	友達の表情や言葉、態度等から、相手の気持ちを理解し、協力して行動する。	自分の作業や仕事を認識し、その範囲の中で必要なことを自分で考えて、主体的に取り組み、必要に応じて連絡、相談をしながら自分の役割を果たす。
中学部	身近な大人に困っていることや手伝ってほしいことを伝えたり、疑問に思うことを質問したりする。	立場の違い(友達、先輩後輩、先生、地域の人等)に気付いて、相手に合わせて言葉を選びながら関わる。	友達が困っているときや泣いているときに、声を掛けたり励ましたりする。	与えられた自分の役割や作業を理解し、必要なことを連絡したり状況を報告したりしながら主体的に取り組む。
小学部 高学年	自分のわからないことを尋ねる。	相手のうれしい・悲しい等の気持ちを感じ、自分から感謝や謝罪の気持ちを表す。	相手の気持ちを理解したり、受け入れたりしながら、仲良く過ごしたり協力して活動したりする。	自分から準備や片付け等の簡単な手伝いをする。
小学部 低学年	経験したことを話したり、簡単な質問に答えたりする。	相手の目を見て話したり、話を聞いたりする。	特定の教師や友達と一緒に遊んだり、活動したりして楽しく過ごす。	教師と一緒に、準備や片付け等の簡単な手伝いをする。
	⑧ 身近な大人とかかわる力	⑨ 他者を理解する力	⑩ 友達とかかわる力	⑪ 役割を果たす力

(4)自立と社会参加に向かう

高等部	大人の助言を聞きながら、自分で余暇の過ごし方を計画する。	初めての場所で、初めて取り組む活動でも、その場の状況に合わせて落ち着いて取り組む。	必要なことをメモしたり、記録を取ったりしながら話を聞いたり、メモやカレンダーを活用したりして、自分の生活や仕事の内容に見通しをもつ。	自らの課題や仕事に対して自分なりの解決策を考え実行し、やり逃げる。	IPOに応じた身なりを整えたり、公共交通機関を自分で選択し、マナーを守って利用したりする。
中学部	好きなことや興味のあることの中で趣味をもち、楽しんで過ごす。	初めての人や場所を受け入れて、落ち着いて過ごしたり、決められた課題や仕事に取り組もうとしたりする。	見聞きしたことをメモにまとめたり、活動や仕事の予定を立てたりスケジュールに書き写したりする。	与えられた課題や仕事に対して、集中して最後まで取り組む。	場に応じた身なりに気をつけたり、公共交通機関や公共施設においてマナーを守って利用したりする。
小学部 高学年	様々な活動を通して、自分の好きな活動を見付けたり、選んだりする。	関わりが少ない人との活動や行く機会が少ない場所でも、活動を楽しむ。	予定やスケジュールを確認して見通しをもつ。	一人ではできないことにも、周りの人に助けを借りながら最後まで取り組もうとする。	状況に応じた身なりが分かったり、生活の中の簡単なマナーやルールを守って行動したりする。
小学部 低学年	したいことや行きたい場所等の要求を伝える。	学校内でのいつもと違う環境を受け入れ、落ち着いて過ごしたり、活動に取り組んだりする。	メモを見て簡単な事柄(持ち物や宿題等)を伝える。	自分でできることは自分でしようとする。	教師と一緒に身なりを整えたりマナーやルールを守ったりする。
	⑫ 余暇を楽しむ力	⑬ 新しい環境を受け入れる力	⑭ 手段を活用する力	⑮ 挑戦する力	⑯ 社会に参加する力